

2018 Super Rally Car (SRC) v1.2 規定**1 公示**

この規定を満たす車両は Japan Super Rally Series (JSR) に出場を認められるが、規定詳細については出場する各ラリーの特別規則書が優先される。

2 SRCは合法的に公道走行できる車両であること

SRC には日本の公道を合法的に走れることが求められる。

日本国内で登録した車両は改造車検取得が求められ、一時輸入される海外登録車は登録国の公道を合法的に走行できることが求められる。

3 日本モータースポーツアソシエーション承認車両であること

2018 年度の FIA 規定に合致する車両、JAF RJ 規定に合致する車両、および日本モータースポーツアソシエーションが承認した車両とする。(ラリー北海道については 2018 年 FIA 地域ラリー規則第 4 条および V4-第 4 条に従った車両) とする。

個々のパーツの使用については日本モータースポーツアソシエーションが APRC ワーキンググループ等と協議の上、可/不可の判断を行う。このため SRC の車両製作者は基本プランについては遅くとも車両が出場開始する日の 3ヶ月前から、追加パーツは遅くとも 1ヶ月前には日本モータースポーツアソシエーションとの協議を始めパーツ使用の可/不可を確認すること。また 2017 年に ASN カーの承認を受けている車両は新たな承認は不要とする。
連絡先 : tech@super-rally.net

4 安全装備**4.1 ロールケージ**

2018 年度の FIA J 項に合致するものとする。

4.2 キルスイッチ

義務づけとする。

4.3 自動消火器

取り付けを推奨する。2019 年以降は義務づけとするが、ラリー北海道出場車両は 2018 年も義務とする。尚、ラリー北海道以外のラリーについても特別規則書の規定が優先される。

4.4 ハンドヘルド消化器

義務づけとする。

4.5 ドア内には純正装着のドアバーもしくは FIA 準拠のハニカム補強材を装着すること。

4.6 シートベルト、シート、FDR デバイス、ドライバーウエアなどはすべて該当年度の FIA 規定を満たしていること。

5 エンジン

生産車に搭載されている 2L 以下のエンジンを使用する。市場で購入可能な 2L 以下のエンジンは詳細を日本モータースポーツアソシエーションに申請し、使用承認を受ける。

6 エンジン補器

6.1 ターボ：自由

6.2 エアリストリクター

過給器付きエンジンはエンジン本体の排気量に関わらず最大 34φとする。(ラリー北海道出場車両は APRC ASN 車両規定に従う事)

6.3 エクゾースト&キャタライザー

公道走行要件を満たすこと。音量は測定距離 3m の場合 105dB (A) 以下とするが日本モータースポーツアソシエーションは 6 週間の猶予をもって最大音量引き下げを行うことがある。

7 最低重量

FIA ホモロゲーションや JAF 車両規則で規定されない車両はラリー装備での最低重量 (スペアタイヤ 1 本、ドライバー装備を除いた重量) は 1230kg とする。(ラリー北海道出場車両は APRC ASN 車両規定に従う事)

8 リムとタイヤ

2018 年は自由とする。2019 年以降は改訂を予定。

9 SRC2

2017 年に規定した SRC2 は廃止する。